

3 ユニバーサルデザイン 関連施策

「だれもが暮らしやすく豊かなくまもと」を実現するため、ユニバーサルデザイン(UD)[※]の視点に立ち、県政全般にわたり事業の再構築を行うとともに、UDをさらに推進するための施策に取り組みます。



ホームに設置されたエレベーターなどUDの視点から整備されたJR水前寺駅

【主な事業】

- 道路分野におけるUDガイドラインの策定……………5百万円
- UDの広報、地域団体を支援する取り組み…23百万円 など

※年齢や性別、障害の有無などにかかわらず、すべての人が生活しやすい社会のデザイン

4 パートナーシップ 関連施策

県民の皆さんが県政に主体的に参加するための新たな仕組みづくりや、NPO[※]、大学、企業などが目標を共有し、対等な立場でそれぞれの役割に応じた責任を果たす取り組みを展開します。



みんなの川と海づくり県民運動

【主な事業】

- NPOなどと協働した県民参加による新たなシステムづくり……………12百万円
- 県民参加による道路、公園、景観の美化……………8百万円
- NPO、行政などの協働による各種取り組み…47百万円 など

※Nonprofit Organizationの略(民間非営利組織)

5 食の安全・安心 確保関連施策

消費者の視点に立ち、食の安全・安心の確保に取り組みます。



農業への理解を促すための稲刈り体験

【主な事業】

- 消費者と生産者、行政などの連携体制を強化する取り組み……………11百万円
- 農畜産物の生産・流通履歴などの情報システムの導入…43百万円
- 残留農薬などの分析体制整備を支援する取り組み……………15百万円 など

平成15年度の

熊本県では、平成13年2月に「財政健全化計画」を策定し、これに基づいた取り組みを進めています。平成15年度予算の編成に当たっても、引き続き事務事業の見直しなどを行いました。



しかし、県税や地方交付税など歳入が大幅に減少し191億円の財源不足となる見込みとなったため、貯金にあたる基金264億円のうち135億円を取り崩すとともに、借金である財政健全化債50億円を発行することなどにより、収支の均衡を図りました。

歳出面では、「雇用対策」など対応が急がれる重要課題や県総合計画の「21世紀への挑戦プロジェクト」の推進に弾みをつける施策など、重要政策課題を重点的かつ着実に推進する予算となるよう編成しました。

また、食の安全・安心を確保するための取り組みなど、社会情勢の変化などにも的確に対応しながら、農林水産業や商工業の振興、社会資本の着実な整備、福祉、環境、教育、警察などの諸施策の着実な推進を目指すバランスのとれた予算となるよう努めました。

これらの結果、平成15年度の一般会計予算規模は7,652億円、平成14年度当初予算と比較すると3.4%の減となりました。(予算の内訳は4ページに示しています。)

6 市町村合併 支援施策

各地域の合併協議会が行う合併に向けた準備や新たなまちづくりを支援します。



新市の名称を決定した天草合併協議会

【主な事業】

- 合併協議会が行う将来ビジョンなどの策定、啓発活動への支援……………35百万円
- 合併協議会設置地域ごとの道路整備計画の策定…35百万円
- 市町村合併特別交付金による助成……………8億円 など

■お問い合わせ先／熊本県財政課 企画調整班 ☎096-383-1111 (内線3273) FAX096-382-7815
電子メール zaisai@pref.kumamoto.lg.jp

進めて参りたいと思っています。

また、あさぎり町の誕生により、今年度は、だれもが地方分権の流れの中で「市町村合併」をはっきりとイメージされるようになるでしょう。県も、県民が主役の県政を目指すうえで、これまで以上に市町村とのパートナーシップを一層強くしていくことが大切だと感じています。

熊本の春景は、新たな息吹や生命感にあふれています。この時季、新しい夢や希望を抱いて歩み始められた方々も多いことでしょう。さて、今回ご紹介しております県の平成15年度予算では、徹底した財政健全化を進めながらも、豊かな未来への礎を築くために、雇用創出、有明海・八代海再生という喫緊の課題や「ゆとり創造ファミリープラン」「新幹線を活かしたくまもとづくり」など、熊本らしさを創り出す施策に重点的に取り組むこととしています。



熊本県知事 潮谷 義子

知事室から